

News Release

平成 25 年 12 月 12 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 橋本 徹

「東日本大震災後の訪日観光意識(平成 25 年版)」を発行

－安全面の不安は残るものの、7 割は日本旅行に対して前向き－

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）は、このたび「東日本大震災後の訪日観光意識（平成 25 年版）」と題した調査レポートを発行しました。

当レポートは、昨年 12 月発行「東日本大震災後の訪日観光意識（アジア 8 地域対象）」の続編となるもので、アジア 8 地域（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）を対象として、インターネットによる訪日旅行者の観光意向調査を実施したものであり、特に東日本大震災の影響にかかる質問項目についての回答結果をまとめたものです。

震災後の日本の安全面について依然不安は払拭されていないものの、回答者の 7 割が日本旅行に対して前向きな意向を示す結果となりました。

当レポートの詳細は、DBJ ウェブサイト（<http://www.dbj.jp/investigate/area/tohoku/>）に掲載しておりますので、ご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、地域のお役に立てる情報発信を積極的に行ってまいります。

【お問い合わせ先】

東北支店 企画調査課 電話番号 022-227-8182